



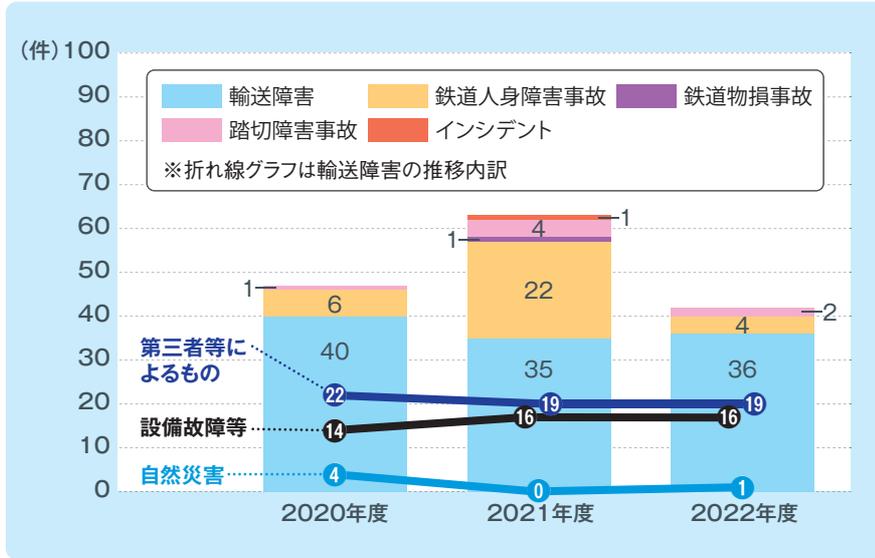
4 鉄道運転事故等の発生状況と再発防止策

2022年度に発生した鉄道運転事故等は、次のとおりです。

ご利用のお客さまおよび沿線の皆さまには大変ご迷惑をおかけしましたことを深くお詫び申し上げます。

さらなる安全対策を推進することにより、鉄道運転事故等の防止に取り組んでまいります。

◆ 鉄道運転事故・輸送障害・インシデントの発生件数



※鉄道運転事故とは、「列車衝突事故」「列車脱線事故」「列車火災事故」「踏切障害事故」「道路障害事故」「鉄道人身障害事故」「鉄道物損事故」をいいます。また、警察から自殺と判断されない事故は、鉄道運転事故として計上されます。

※輸送障害とは、列車または車両の運転に障害を及ぼしたもので、鉄道運転事故に該当しないものをいいます。また、上記発生件数には、国土交通省に報告義務のないものについても含まれております。

※インシデントとは、鉄道運転事故が発生するおそれがあると認められる事態をいいます。

鉄道運転事故・輸送障害

2022年度の鉄道運転事故は、ホーム上や線路内、または踏切道内にて旅客や公衆が誤って接触したこと等による、鉄道人身障害事故4件(2021年度は22件)と踏切障害事故が2件(2021年度は4件)発生しました。

また、輸送障害については、36件(2021年度は35件)発生しました。

■ 南太田変電所における停電に対する対応

南太田変電所におけるリレー故障により、横浜変電所から弘明寺変電所間で停電が発生、横浜～上大岡駅間で運転を一時見合わせました。

対策として、不具合のあったリレーを交換するとともに、全変電所の点検を実施し、異常のないことを確認いたしました。

■ 京急長沢駅～津久井浜駅間における列車と倒木の接触に対する対応

同区間走行中に上り列車の運転士が、線路内にあった倒木を発見し、直ちに非常ブレーキ操作を行いました。間に合わず、倒木と接触し停止いたしました。

対策として、全線において倒木等の恐れがある樹木の確認を行い、伐採等の対策を実施いたしました。

インシデント

2022年度のインシデントは、0件でした。